

ときめき人

Tokimeki bito



人の縁を 丸い円で結ぶ 地域活性化の 仕掛け人

迫町・鉄炮丁

志田 敏典さん

しだ としのり
1987年生まれ

Profile

新潟県上越市出身。紳士服専門店での勤務を経て、地域おこし協力隊に着任。現在は、まちづくり企業「縁屋」を中心に、さまざまな地域活性化事業を展開する。妻と1女2男の家族5人暮らし。



3回目となる「とめまる2025」は、5月24日開催。ぜひお越しください。
詳しくは [とめまる2025](#) Webで

「誰もが自分のやりたいことを実現できる環境をつくり、子どもたちに“かっこいい大人の背中”を見せたいんです」と志田さんは笑顔で語る。

新潟出身の志田さんは、サラリーマン時代に本市を訪れた際、地域おこし協力隊OBとの出会いをきっかけに協力隊へ応募。2021年9月から3年間、市の観光振興業務に携わってきた。

コロナ禍で多くの催しが中止となる中、地域に活気を取り戻そうと、キャンドルイベント「燈火」や県北最大級のマルシェ「とめまる」を企画。未経験ながら、がむしゃらにイベントを運営する中で、中高生によるチャレンジ企画の成功や、来場した子どもたちの喜ぶ姿を目の当たりにし、人の思いに寄り添ったイベントの重要性と、子どもたちが

やりたいことに挑戦できる環境の大切さを痛感した。この経験を機に、地域の熱意ある人々をつなぎ、夢の実現を応援すること、そして挑戦する大人の姿を次世代の若者たちに示し、地域活性化の循環を生み出すことをモットーに掲げ、多様なまちづくり事業に取り組み始めた。

登米で活動する理由は、登米の人にあると志田さんは言う。「僕が来る前から地域のために全力で頑張ってきた人たちが、僕を仲間として受け入れ、応援してくれた。だから、もらった恩を地域に返す『恩送り』がしたいんです」と目を輝かせる。

今後は、廃校を活用した地域活性化にも取り組む予定だ。つながる縁が新たなワクワクを生むと信じ、今日も志田さんは誰かの夢の実現に奔走する。

編集後記

QRコード

登米市公式ホームページ
<https://www.city.tome.miagi.jp/>



登米市メール配信サービス
(防犯や防災、市政に関する情報などを配信)
<https://plus.sugumail.com/usr/tome/home>



登米市公式LINE
(市政、イベント情報などを配信)
<https://line.me/R/ti/p/%40972tqqam>

私は、息子の高校の卒業式で祝辞を述べるという大役を無事終えることができました。なんとか平静を装いましたが、内心は不安と緊張で汗だく。でも、会場でいちばん不安だったのは息子だったかも。(高橋)